

令和2年度 授業改善推進プラン（課題分析と授業改善策）

教科名	保健体育科
-----	-------

学校番号 12 学校名 貫井中学校

課題分析	授業改善策	改善状況
<p>【関心・意欲・態度】 全学年通じて体力が低い生徒が多い。また学年ごとの体力差も大きい。その中でも、1学年・3学年は運動に対して意欲的に楽しく活動することができる。それに対し、2学年は消極的な取り組みになる生徒が多い。また、今年度は制限のある中での活動のため、主体性のある活動が行いにくくなっている。保健に対しては消極的な生徒が多い。</p> <p>【思考・判断】 上級生になるにつれ、主体的に考え、行動しようとする様子がみられる生徒が多くなってきている。1学年は今年度、教師主導の活動がまだ多いため、思考を深める機会が少ない。保健分野は単元によって自分の生活と結び付けて考えることが難しいことがある。</p> <p>【技能】 体力が低い生徒が多く、特に1年生は中学入学までの経験の差が大きい。また、定着が遅い生徒も多い。3学年は生徒同士が教え合いながら活動することができるため、運動が苦手な生徒も積極的に取り組むようになった。</p> <p>【知識・理解】 知識、理解があっても実際に運動場面で生かすことができない生徒が特に女子に多くいる。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 グループ学習を多く取り入れる。得意な生徒、苦手な生徒それぞれが課題に合わせて自分の役割を果たせるような授業展開をする。</p> <p>【思考・判断】 学習カードを工夫し、思考を深められるような授業展開の工夫をする。保健分野が日常生活に生かすことができるように授業を工夫する。</p> <p>【技能】 自信をもって取り組むことができるようにどの単元も基礎的なことを丁寧に進めるようにする。習熟度にあった練習場所の設定を行う。</p> <p>【知識・理解】 運動場面で視覚的に理解できるような場面を設定する。</p>	